

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) サノヤス造船株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 530-6109 大阪市北区中之島三丁目 3 番 2 3 号	
本票作成	部署名：施設部 動力施設課				
主たる業種	分類コード	3	1	業種名：輸送用機械器具製造業	
事業の概要	船舶製造 載貨重量83000トンばら積貨物船相当で年間 1 2 隻建造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島製造所		倉敷市児島塩生2767番地21	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1ヶ所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成26年度)					
	12,800 t CO ₂			12,160 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量					
	①	水島製造所		12,800 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 鋼材加工重量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		113.3	107.6
		kg CO ₂ / (t)	kg CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法上の、事業者の判断基準に目標として、原単位ベースではあるが、毎年度1パーセントの削減ということがある。
したがって最低限まず、この数値をクリアすべきと考える。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・エネルギー管理者を委員長とし、各部・各課より参集した委員による省エネ委員会を定期的（1回/月）に開催し、省エネ（温室効果ガス排出量削減）に向けた、計画立案・実践を行う。
- ・環境管理委員会にて、ISO14001に基づいた、環境改善の取組を推進する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島製造所	(1) 事務所天井灯（蛍光灯40Wx2灯式）安定器のインバーター化。 （平成20年、21年）約600灯実施。（CO2削減量8.6t） (2) 現場仮設照明の省エネ化。 60W白熱球を13W蛍光型ランプに変更。（平成20年）750灯実施。 （CO2削減量62t） (3) 現場仮設照明のタイマー制御範囲拡大による不要時消灯の推進。 （平成19年～20年）（CO2削減量7.5t）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島製造所	(1) 省エネ委員会の活性化による、全員参加でのさらなる省エネに対する取組の展開。（CO2削減量70t/年） i 保安電力の損失調査と削減。 ii エア配管損失調査と削減。 iii 照明スイッチの細めな入・切による無駄の削減。 (2) 二次変電所の変圧器の高効率型への代替による、損失の削減。 （平成22年～26年）（3台/年）CO2削減量21t/年 (3) 工場照明の高効率型器具への代替による、省エネ化。 （平成22年～24年）200台（CO2削減量 212t/年）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

社名： 会社組織再編により平成24年1月4日付にて
 (株)サノヤス・ヒシノ明昌→サノヤス造船(株)に変更となる。